



2019年11月8日

各位

会社名 株式会社リンコーコーポレーション  
 代表者名 代表取締役社長 南波 秀憲  
 (コード番号 9355 東証第二部)  
 お問い合わせ先 取締役 前山 英人  
 (TEL. 025 - 245 - 4112)

2020年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異及び  
 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月10日に公表しました2020年3月期第2四半期の連結業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向や社会情勢を踏まえ、2020年3月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

## 記

1. 2020年3月期 第2四半期（累計）連結業績予想数値と実績値との差異  
 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,760	450	460	340	126.04
今回実績 (B)	8,840	282	305	204	75.96
増減額 (B-A)	80	△167	△154	△135	
増減率 (%)	0.9	△37.2	△33.6	△39.7	
(ご参考) 前年同期 (2019年3月期第2四 半期)	8,838	447	458	335	124.47

## 2. 差異が生じた理由

2019年3月期第2四半期累計期間の当社企業グループの売上高は、主力である運輸部門において、貨物取扱数量はコンテナ貨物を中心に前年同四半期比で増加し、商品販売部門も堅調に推移したことなどから、前回予想より0.9%増収の88億4千万円となりました。

一方、差益面につきましては、運輸部門においてはトラック輸送費等の下払費や新規倉庫稼働に伴う一時的な経費や減価償却費の増加、ホテル事業部門においては山形沖地震や台風等の自然災害の影響を受け、また、機械販売部門においても前回予想時より低調に推移したことなどから、営業利益は前回予想より37.2%減益の2億8千2百万円、経常利益は前回予想より33.6%減益の3億5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想より39.7%減益の2億4百万円となりました。

3. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 17,500	百万円 790	百万円 795	百万円 570	円 銭 211.30
今回修正予想（B）	17,100	600	620	430	159.40
増減額（B－A）	△400	△190	△175	△140	
増減率（%）	△2.3	△24.1	△22.0	△24.6	
（ご参考） 前期実績 （2019年3月期）	17,625	787	794	567	210.42

4. 修正の理由

下期につきましては、主力である運輸部門におきまして、船内取扱数量は堅調に推移するものと見込んでおります。また、収益の改善のため、新規倉庫の稼働率を上げる集荷活動や運輸作業コストの削減効果に繋がるあらゆる取組みをより一層進めて参ります。しかし、上期における新規倉庫関係の経費や下払費等の増加が当初の予想を大きく上回ったことや、今後の事業環境の動向、業績推移を慎重に検討した結果、2020年3月期通期連結業績予想を下方修正いたします。

（注）上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。

以上